

2019年度 第1回（通算20回） 研修委員会主催

講演会

さる5月8日、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 臨床看護学講座 緩和ケア・老年看護分野教授およびがん看護専門看護師であり、「ともいき京都」発起人代表である田村恵子先生をお招きし、「地域での看護のあり方を考える～「ともいき京都」の実践から～」をテーマにご講演いただきました。大阪府下の看護専門学校教員や病院の看護師など、多くの方々にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

2人に1人はがんに罹患するといわれ、平成18年にはがん対策基本法が成立、早期発見に向けての対策などが立てられ、さらに平成28年にはがん患者の就労対策が追加されるなど、まさしくがんとともに生きる時代になってきていることを、先生のご講演で実感することができました。がんサバイバーシップといった考えのもと、がんサバイバーといわれる人々はどのように過ごし、またその人達を看護職としてどう関わっていけばよいのか、そのことを「ともいき京都」の活動から知ることができました。がんサバイバーは、特別ではなく、自分の身近に起こりえる状況であり、どうありたいか、また学生にどう伝えたいかを考える機会を与えていただいた田村先生に感謝申し上げます。

また、講演会終了後は田村先生を囲んで懇親会を開催、時間を忘れ、ぎりぎりまで話がはずみました。

これからも、学校や臨床で活躍する方々へ元気や勇気を与えられる研修会、講演会の開催をめざしていききたいと思います。

